

令和3年度 第1回
とみやわくわくミーティング
実施報告書



富谷市総務部市民協働課

テ　　マ	大亀山森林公園について ～新たな魅力を見つけよう！～
日　　時	令和3年7月29日（木） 午後3時00分～午後5時00分
場　　所	富谷市役所3階305会議室
座　　長	宮城大学 事業構想学群 准教授 佐々木 秀之
参 加 者	一般参加 10名 宮城大学学生 4名 富谷市 8名（市長、副市長、総務部長、都市計画課長、市民協働課4名） 傍聴者 3名 報道 1名

実施状況

時間	内容	状況写真
15:00～ 15:30	初インテ-ション ①自己紹介 ②屋上見学	 
15:30～ 17:00	ミーティング ①市長あいさつ ②ｽﾗｲﾄﾞ上映 ③情報提供 （都市計画課） ④意見交換 （グループワーク） ⑤市長感想	     

市長あいさつ



皆さんこんにちは。本日は、令和3年度に入って第1回目のとみやわくわくミーティングにご参加いただきありがとうございます。このわくわくミーティングはこれまで毎年、年4回、開催させていただいておりました。毎回テーマを設けて、そのテーマに関心や色々な思いをお持ちの方々にご参加いただき、直接この場でご意見をいただきまして、市民の皆さんの声を直接、市政の場に反映させたいということでこれまで継続して開催してきたところでございます。今回は大亀山森林公園の活用についてをテーマに設定させていただき、このテーマに基づいて皆さんにご参加いただいたところでございます。大亀山森林公園につきましては後ほど説明があると思いますが、富谷市にとっては森林公園ということで、緑豊かで広大な元々の森林を活用して、平成7年にオープンした公園でございます。年間を通じて多くの皆さんに来ていただき、特に暖かい季節は、ちびっこゲレンデがありますので小さなお子さんにも来ていただいているところですが、まだまだ有効に活用できていないのではということで色々な機会にお話をいただきましたので、今日はそういったところで皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

富谷市におきましては、今年の10月に市制施行5周年を迎えるところでございます。今月14日に発表があった、いい部屋ネットの「街の住みこち&住みたい街ランキング2021」で宮城県内においては3年連続1位、東北では2年連続1位という評価をいただきました。8つの指標によって総合の順位が決められるのですが、8つの指標のうち7つの指標はすべて5位以内にランクインしていますが、唯一ランク外の、富谷の弱点と言われているのが自然と観光の分野です。自然は緑豊かですが、弱点は観光なのです。観光資源に恵まれていない本市にとって観光資源としての大亀山森林公園を有効に活用していければと考えているところでございます。また、今富谷市で整備を進めております「(仮称)やすらぎパークとみや」は大亀山森林公園の東側に面して、連結するような形となっております。

コロナ禍の今、郊外での時間を過ごされる方も増えてきております。そういった中で大亀山森林公園をさらに有効に活用していければということで、市民の皆さんに喜んでいただける施設にしていくためにも今日は忌憚のないご意見をいただければと思っております。

また、本日も座長としてコーディネーターいただきます宮城大学の佐々木准教授、そしてアシスタントとして4名の宮城大学の学生の皆さんにもお手伝いいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

限られた時間ではありますが、皆様とともに素晴らしい大亀山森林公園の未来を描いていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございます。

スライド上映(座長)～スライドに基づき説明～

実は偶然なのですが、去年、学生たちがコロナ禍で地域のフィールドワークが出来なくなって、あまり人のいない所なら出来るということで行ったのが塩釜市の浦戸という離島と富谷市の大亀山森林公園だったのです。ちょうど学生がとみやどのワークショップに参加してまして、ご縁があるということで行ってみようとなり、そこでプチ贅沢をしようということで富谷の牛タン屋さんで壺にはいった牛タン弁当を買って、大亀山森林公園に行った時の映像を今日は紹介したいと思います。

これから地域資源をどのように活用していくかという話がありますけれども、やはりふと見た時にこのようなものが改めて贅沢だなと学生たちも感じております。私もまだまだ知らない情報があると思うので、ぜひ色々な意見を出していただきまして、活用方法を考えていただければと思います。



情報提供（都市計画課） ～別紙「令和3年度第1回とみやわくわくミーティング資料」に基づき説明～

私からは大亀山森林公園の概要につきまして、説明させていただきます。

資料といたしまして「大亀山森林公園の概要」、NPO 法人 SCR さんで作成したマップ、大亀山森林公園のパンフレットを使って説明いたします。

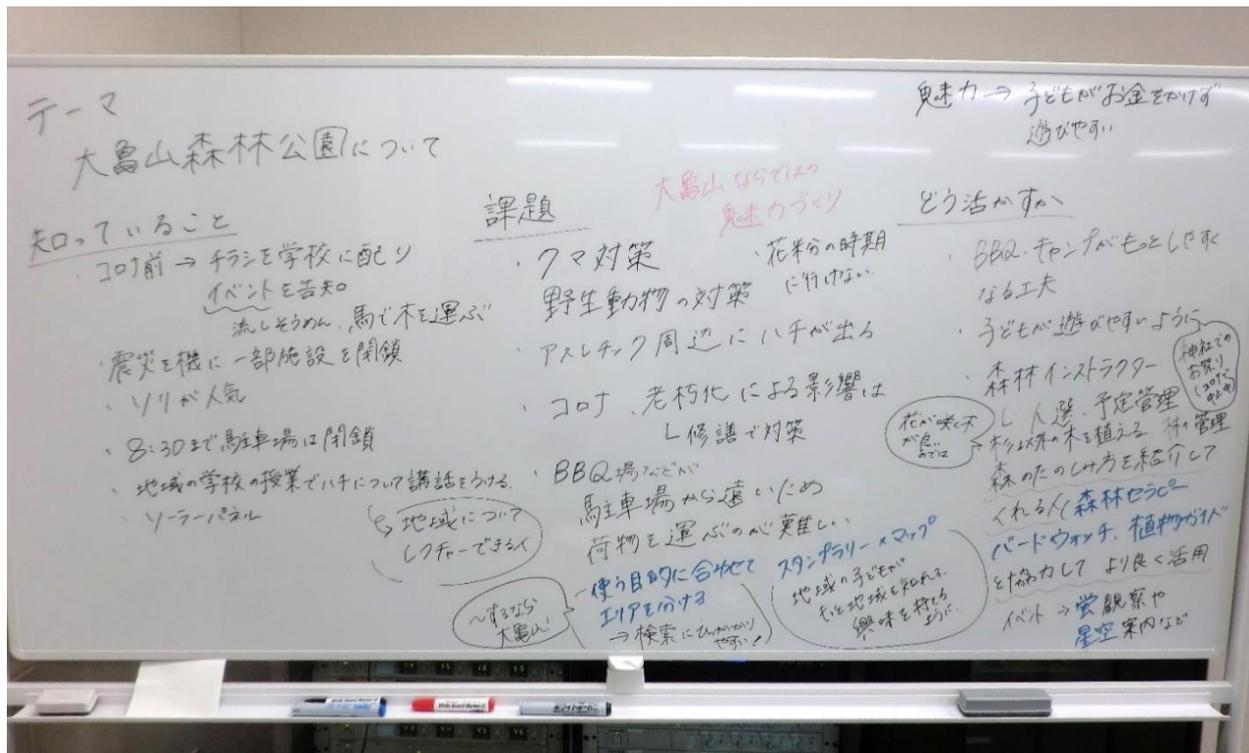
大亀山森林公園の面積は32.7ヘクタールで全体の約70%が森林となっております。開園期間は4月から11月まで。12月から3月までは閉園となっております。駐車場は120台ほどの駐車が可能となっております。第一駐車場と第二駐車場となっております。アクセスは東北自動車道泉インターチェンジ、仙台市営地下鉄泉中央駅から車で20分となっております。

整備目的としましては、昭和40年代後半から宅地開発の続く本市において、優良な緑化の保全と市民のやすらぎの場として、平成7年4月1日にオープンしたものです。主要施設としまして、マップを見ていただきたいのですが、亀亀館（モシモシハウス）の愛称で親しまれている管理棟があります。来園者が自由に休憩することのできるホールを完備した六角形のログハウス風の施設です。次に展望台です。展望台の上段展望デッキまでの標高が138メートル（とみや）となっております。360度のパノラマから西には船形連邦や七ツ森、東には仙台湾を望むことができる人気の施設です。しかし、展望台は老朽化が進み安全確保が困難になってきているため、解体撤去し、跡地に周辺を眺望できる小高い丘の整備を計画しています。次にちびっこゲレンデです。子どもたちが四季を通じて気軽にそり遊びを楽しむことのできる人工芝ゲレンデです。次にフィールドアスレチックです。コース延長800メートルに全17基の木製アスレチックを整備しており、各遊具に「原の田植え踊り」や「明石台かけのぼり」といった市内の地名にちなんだ名前をつけています。次にバーベキュー広場です。家族やお友達と一緒にバーベキューや芋煮を楽しんでいただいています。宿泊のキャンプ場は、平成22年度から廃止しております。



来場者数については、平成12年度から公園の来場者数の集計を始めまして、平成14年度の4万4,465人をピークに年間平均来場者数は2万5,000人前後で推移しています。令和2年度は、コロナ禍により一部施設利用制限をしましたが、平均来場者数と変わらない2万4,620人でした。

令和3年度の予算額ですが、大亀山森林公園維持管理事業費として2,500万円、内訳としてシルバー人材センターに委託している施設管理業務に500万円、ちびっこゲレンデ、アスレチックの施設修繕に1,000万円、除草・支障木伐採業務に700万円、光熱水費、火災保険料その他に300万円となっております。このくらいが毎年掛かってきているということでございます。



A チーム

<知っていること>

- ・コロナ前は学校にチラシを配り、流しそめん等のイベントを告知していた
- ・震災を機に一部施設を閉鎖している
- ・8:30 までは駐車場は閉鎖している
- ・地域の学校の授業でハチについて講話をうける
- ・ソリが人気
- ・子どもがお金をかけず遊びやすい

<課題>

- ・クマなどの野生動物やハチの対策が必要
- ・施設の老朽化
- ・バーベキュー場から駐車場が遠いため荷物を運ぶのが大変



【バーベキュー広場】

<大亀山森林公園の魅力を活用するためのアイデア等>

- ・大亀山森林公園ならではの魅力を創る
- ・使う目的に合わせてエリア分けをする
- ・地域の子どもが富谷に興味を持てるようなマップ、スタンプラリーを作る
- ・森の楽しみ方を教えてくれる人(森林セラピスト、植物ガイド)を常駐させる

「〇〇するなら大亀山森林公園！」
検索に引っかかりやすくなる！

** Aチームの発表 **



コロナ前は学校に色々なイベントのチラシを配って子どもたちに活用してもらえるような場を作れていたけれど、コロナ禍になってからはなかなかそのような活動もできないという課題がある。また、別の観点からクマをはじめとする野生動物やスズメバチの対策、アスレチック施設の老朽化などの課題がある。さらにバーベキューをする場所があるのに道路を挟んでいたり、駐車場が遠かったりして荷物を運ぶのが大変という課題がある。

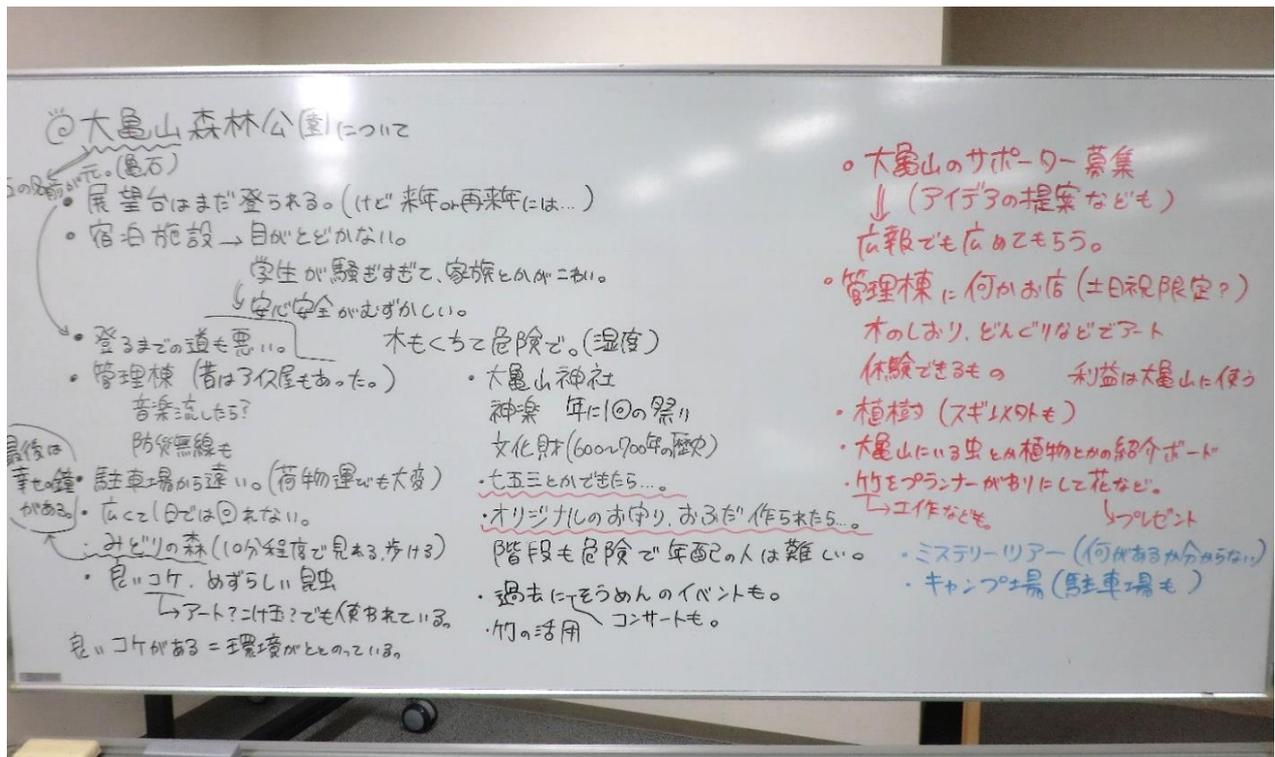
県内に色々な公園がある中で、どうすれば大亀山森林公園を使ってもらえるのかと考えた時に、例えば花見をしようと思ったときに浮かんでくる公園が〇〇公園、川遊びをしようとしたときに〇〇公園というように、「〇〇するなら大亀山森林公園」という風に、色々な機能があるけれど、大亀山森林公園ならではの何か魅力の一つを見つければ、一定のユーザーを獲得できるのではないかと思う。独自の魅力、看板となる使い方、魅力を打ち出していけたら良いと思う。

今の公園の使い方を明確にエリア分けをしていって、これをしたい人はこっちというように分かりやすく示すことができれば利用者側も動きやすい。また、アスレチックの名称に富谷の地名が使われているが、それだけではなくて富谷市のマップが書いてあるスタンプラリーを作って、富谷市の地名と場所をセットで覚えるような仕組みを作れば勉強にもなるし、学校の社会の勉強の場所としても使ってもらえる。公園の楽しみ方や森の歩き方を教えてくれるような、例えば植物に詳しい人を常駐とまではいかなくても配置すると色々な楽しみ方を提供できると思う。

<佐々木先生>

「〇〇するなら大亀山森林公園」という魅力づくりという非常に心に残るプレゼンでした。





B チーム

<知っていること>

- ・管理棟に昔はアイス屋があった
- ・みどりの森に質の良いコケ、珍しい昆虫がいる



【管理棟：亀亀館（モシモシハウス）】

<課題>

- ・展望台に登ることができるが道が悪い
- ・宿泊施設があるが管理棟から目が届かない
- ・キャンプ場等に駐車場が遠く、荷物運びが大変

<大亀山森林公園の魅力を活用するためのアイデア等>

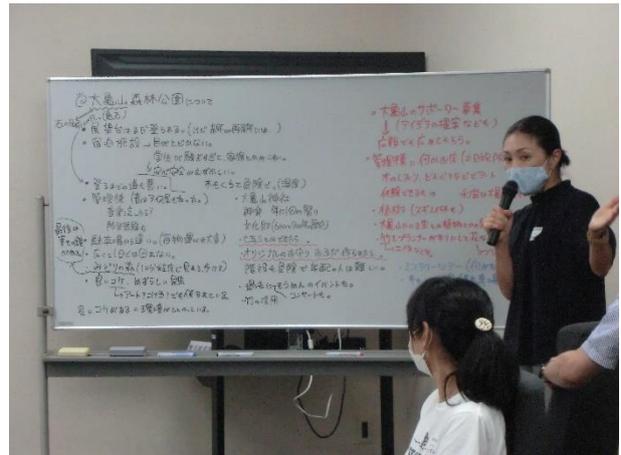
- ・広報等でサポーターを募集
- ・管理棟に何かお店を開き、木のしおりなどを販売する
- ・虫や植物の紹介ボードを作成する
- ・ミステリーツアーの実施

大亀山森林公園のサポーターを募集！
それぞれ都合の良い時に管理、手入れをする



** Bチームの発表 **

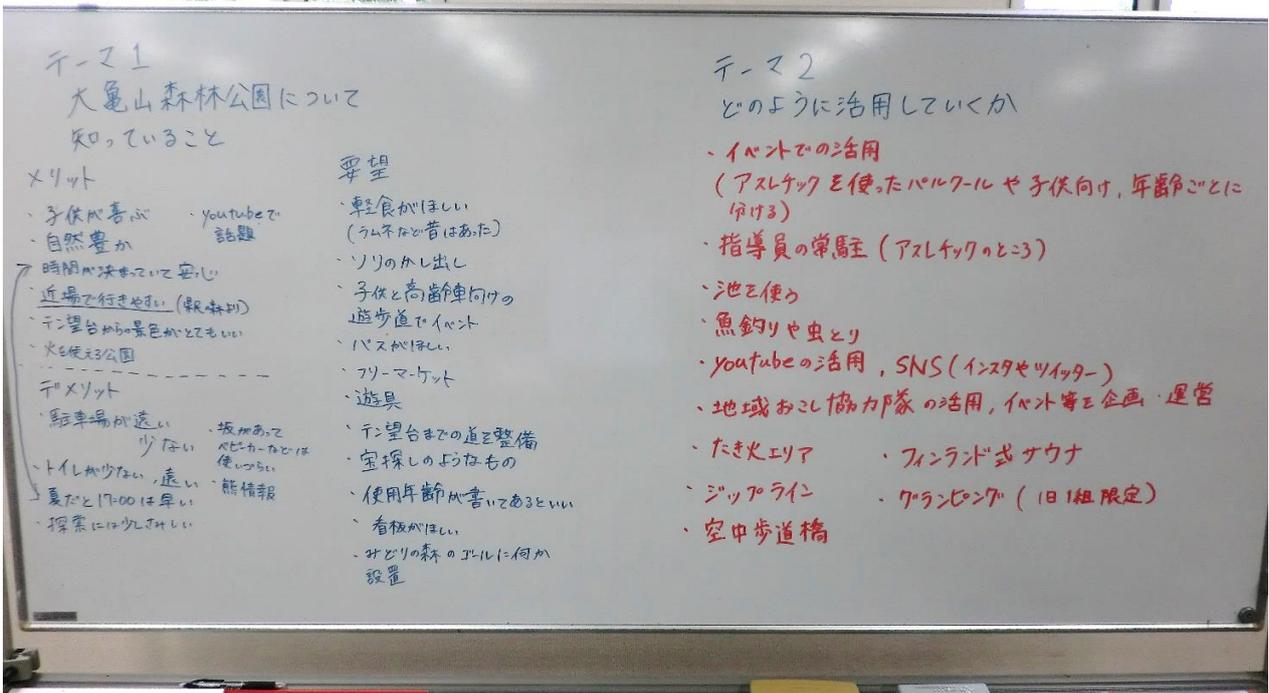
大亀山森林公園は老朽化、諸々整備がされていないということで課題がたくさんあるという認識である。課題に対応するためにはまず人の手を入れる必要があるということで、大亀山森林公園でサポーターを募集してはどうかという意見が出た。人を集め、都合の良い時に自分のペースで大亀山森林公園を管理、手入れを出来たらと思う。せっかく歴史ある神社があるので神主さんを置いても良いのではないかと。そこで七五三とかオリジナルのお守り、合格祈願のお守り、そういうのを実現できたらと思う。それから前の班と同じで365日人を常駐させるのは難しいと思うので、例えば土日、祝祭日、夏休み、GWなど期間を限定して管理棟のようなところに常設した店を置いて、大亀山森林公園の伐採した木のしおりとか、状態の良いどんぐり、松ぼっくりなどを簡単にラッピングして売って、夏休みの宿題とか課題の役に立てるのではないかと。そこで得た資金を大亀山森林公園の整備に回せるのではないかと。そのほか、ポイントを作ってミステリーツアーをしたり、もう少し整備が整ったらキャンプ場もフルに活用できたら良いのではないかと。



<佐々木先生>

人の手を入れる必要があるというのが印象に残るフレーズでした。また、資金の循環といった話もあって非常に素晴らしいプレゼンでした。





C チーム

<知っていること>

- ・ YouTube で人気
- ・ 展望台からの景色が良い
- ・ 公園で火を使うことができる



【バーベキュー広場】

<課題>

- ・ 駐車場、トイレが遠い、少ない
- ・ 坂があり、ベビーカーが使いづらい

<大亀山森林公園の魅力を活用するためのアイデア等>

- ・ アスレチックのところに指導員を常駐する
- ・ YouTube などの SNS の活用
- ・ 地域おこし協力隊でイベントの企画や SNS の発信を行う
- ・ 自然を利用したフィンランド式サウナやグランピング
- ・ 高低差を利用したジップラインや空中歩道橋
- ・ アスレチックを使ったパークールなどイベントで活用する

インスタやツイッターなどの SNS を活用して情報発信する！

** Cチームの発表 **

メリットとして YouTube で有名だということ。人気ユーチューバーのフィッシャーズが大亀山森林公園に来てアスレチックをしている動画が 1,200 万回くらい再生されている。デメリットとしては駐車場が少ない、イベントを企画するような人がいない、高低差があるためベビーカーの移動が大変。デメリットをメリットにしてしまおうということで、高低差を利用してジップラインをやってしまおう。人が少ないキャンプ場にもなかなか行けないなら一日一組限定のグランピングをして、下まで車で行けるようにする。

あまり情報発信することができていない状況だが、せっかく YouTube で有名になっているので SNS を活用して拡散してみてもどうか。また、人がいないのであれば地域おこし協力隊の方を採用してその人が企画、SNS を発信してはどうか。

富谷にパークールの石沢さんがいるのでパークールのイベントを開催してみてもどうか。

あくまで「変える」のではなく今ある大亀山森林公園にある形、存在自体を活用したものを考えていくといいと思う。



<佐々木先生>

学生が大亀山森林公園を YouTube で知っていたことを今知りました。YouTube の効果を疑問に思っておりましたが、去年、東海オンエアというフィッシャーズと並ぶ人気ユーチューバーを題材とした学生の卒論研究をみたところ、東海オンエアが PR したところとしていないところの比較調査から、ユーチューバーの拡散力はものすごく、確実に観光客は増えていたことがわかりました。



市長講評

本当に今日はありがとうございました。講評というよりは感謝の言葉、思いでございます。

限られた時間の中で本当に大変すばらしい勉強になりました。ありがとうございました。私も就任して以来、SCR の村上さんから大亀山森林公園を何とか活かしませうというお話をいただいて、就任当時から大亀山森林公園を何とかしたいと思いながらもなかなか具体的な対策、施策を打ち出せないでいて本当に反省しております。ただ先ほど冒頭に、佐藤さんから発表いただいた「〇〇するなら大亀山森林公園」、本当に分かりやすいキーワードだなと思いましたし、皆さんに共通していたのはやはり人と多くの知恵や手が加わることによって大亀山森林公園が新たに生まれ変わるという可能性を感じました。

今日いただいた意見を踏まえ、大亀山森林公園のサポーター制度なり、色々な形で市民の皆さんや思いを持っている方々に積極的に関わっていただく機会、知恵をいただいてしっかりと施策の中で市としても実現できるように全力で取り組んでいきたいと思っております。今日はその第一歩だと思っておりますので引き続きどうぞご意見、ご指導をいただければと思っております。そしてお力添え、参加いただければと思っておりますのでどうぞよろしく申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。



